

H29.6.1 静岡新聞掲載

不登校発生どう防ぐ

中郷西中が取り組み紹介

三島

県教委は31日、本年度1回目の移動教育委員会を三島市立中郷西中で行った。木苗直秀教育長と4人の教育委員が訪問し、不登校の発生を防ぐことを主眼に進める同校の学校運営について学校、市教委関係者と意見交換した。

野口厚校長は現在の取り組みについて、生徒により主体性を持た

育を掲げ、教育・指導の基盤に人権教育を採用。外部講師を招いた授業を積極的に実施するとともに、地域連携を強化した。こうした結果、2016年度の新たな不登校は前年度の7人から3人に減ったという。

一つでも楽しみがあれば登校の一步につながる。(学校運営は)楽しみづくりの連続」とも強調した。

教育委員からは校内の明るい雰囲気や評価する声が上がったほか、「不登校に陥りそうな生徒へのフォローも大切」との意見があった。



不登校を防ぐ学校運営について意見交換した移動教育委員会＝三島市立中郷西中